

イボタノキ

【 *Ligustrum obtusifolium* 】

科名 モクセイ科

属名 イボタノキ属

薬効・用途

枝、幹に寄生した昆虫の分泌物（イボタ蠟）を戸の滑りをよくしたり、家具のつや出しに用い、薬用には皮膚の損傷部の保護に使われる。



・花期：5～6月

備考

落葉低木。本州～九州の丘陵地の林内に最も普通に生える。非常に変化が多い。和名は、カイガラムシの仲間のイボタロウムシという昆虫が樹皮に寄生し、分泌した白い口ウ状物質であるイボタ蠟が取れることに由来する。両性花。